

食物経口負荷試験のご案内

食物アレルギーとは

卵や小麦、牛乳などを食べた後、じんま疹や咳、腹痛などの症状を出す病気です。赤ちゃんの10人に1人程度に見られますが、小学生ぐらいまでにそのほとんどが治ります。



経口食物負荷試験とは

アレルギーの原因となる食べ物を分割して食べてみて、アレルギー症状が出るかどうか確認する検査です。

どんな人が検査するの？

過去にアレルギーの症状があった人、アレルギー検査で異常があり未だ食べたことがない人が実際に食べれるかどうか確認するために行います。

当院での食物経口負荷試験

食物経口負荷試験を**日帰り入院**で行います。**食べるものは病院内で用意します**。簡単にかつ自宅や外来より**安全に**検査を行うことができます。



注意

当院では下記条件で検査を行っています。

- ・卵(加熱卵黄・卵白)、小麦、牛乳、大豆アレルギーで1歳～中学生までの小児。
- ・毎週**金曜日**、基本的には**9:00～16:00の日帰り入院で検査**を行います。
- ・過去にショックなどの重篤な症状があった方の負荷試験は行っておりません。また、重症度によっては負荷試験が出来ない場合もあります。

外来・負荷試験までの流れ

- ①**月曜午前中の小児科外来を予約受診。**
- ②**担当医師の診察を受け、負荷試験が可能か相談。**
- ③その後**負荷試験予約** となります。

その他

- ・卵や小麦、牛乳などの食物アレルギーの方
- ・アレルギーの疑いがあり食べることを控えている方
- ・その他検査希望や相談したい方

まずは外来でご相談ください。

ご予約 0287-38-2782

【月～金(祝日を除く) 13:00～16:00】



国際医療福祉大学病院